

# 平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書（大阪市東淀川区）

## I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- 区内地域包括支援センター及びランチとの連携ちらしの作成
- 高齢者だけでなく、様々な世代に向けて広報・普及啓発活動（ポスター掲出・チラシ配布）の取り組み
  - 啓発先…医師会（医療機関）、地域・集合住宅（会館・回覧・掲示板等）、公共交通機関、商店（飲食・スーパー等）、郵便局、介護保険事業者、区・社協広報誌、地域行事、研修・講演会等
- 認知症サポーター養成講座や講演会・映画上映会等の開催



チラシ

## II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

- 医療機関（認知症疾患医療センター含む）、地域包括支援センター・ランチ、介護保険事業所、行政、見守り相談室、生活支援コーディネーター、在宅医療・介護連携コーディネーター等の各種相談支援窓口と連携し、認知症の方及びその家族等への継続的な支援体制の構築と医療と介護の切れ目のないサービスの提供を実施した。
- 医療・介護・福祉に関わる各会議に参加・参画（認知症高齢者支援ネットワーク連絡会議、キャラバンメイト連絡会、認知症診療ネットワーク検討会議、こぶしねっと等）、各種団体の共催等による行事の開催などネットワーク構築に向けて取り組んだ。

## III 若年性認知症の人やその家族への支援

- 対象者把握手法・広報活動の実施
  - ・医師会と連携し、区内の精神科・神経内科への事業説明・情報提供等への理解と協力を依頼。区内の企業へのちらし及びポスターにて啓発活動、認知症サポーター養成講座時に事業説明、若年性認知症の周知・理解を求めた。
- 支援にあたっての関係機関との連携に向けて
  - ・区内外を問わず、若年性認知症の方の生活状況に応じた支援に資する情報（就労支援・経済的支援・医療・介護サービス・障がい制度活用支援・社会参加・家族支援等）の把握を行った。
  - ・認知症初期集中支援終了後は若年性認知症に求められる特有の支援をコーディネートし、地域包括支援センター・ランチ・ケアマネージャー・生活支援コーディネーター・在宅医療介護連携コーディネーター・医療機関等と共に継続的支援を行った。
  - ・認知症疾患医療センターへの相談や大阪市高齢者相談支援サポート事業の専門相談、大阪府若年性認知症支援コーディネーター等を効果的に活用した。特に、若年性認知症に積極的に取り組み、多くの実績がある弘済院との連携（相談、診断・治療、支援等）を図った。

#### ○居場所づくり「プランター農園」の開催

- ・社会参加や支援のつながり構築に向けて生活支援体制整備事業等と連携し若年認知症の方を中心に居場所づくりへの取組みとして「プランター農園」を開催。



農園作業風景

### IV 認知症の人の介護者への支援

○初期集中支援や若年性認知症支援を通じて得たノウハウや認知症サポート医への相談を活用し、介護者等へ助言や情報提供を行った。

○介護家族の会へ参加し、認知症に関する相談・助言等を実施。

○認知症への理解を深め、お互いに見守り・見守られる地域づくりに向けて、認知症サポーター養成講座、オレンジドーナツ（認知症カフェ）の開催支援、講演会等を継続的に実施。



認知症サポーター養成講座

### V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

○認知症カフェの運営支援と認知症家族の方々に対する支援。

- ・地域団体等に対して、様々な認知症カフェの情報を提供し、区内外の認知症カフェ運営団体との交流や情報交換を行い、カフェの開催趣旨にあわせた講師の紹介、調整、大阪市社協の講師謝礼金の活用提案・支援を行った。
- ・認知症本人や家族のための交流会の情報提供や認知症への理解を深め、対応力向上の為に勉強会等の情報提供を行った。



オレンジドーナツ(認知症カフェ)

### VI 会議や研修等の実施及び参画

○会議等の実施及び参画

認知症初期集中支援推進事業関係者会議の実施（年3回）、認知症高齢者支援ネットワーク連絡会議（年2回）、小地域ネットワーク連絡会議（各包括圏域）、つながる場（総合的な相談支援体制の充実事業）・地域ケア会議、こぶしネット（在宅医療連携を考える会）、認知症診療ネットワーク検討会議等、多くの会議に参加・参画し、医療・福祉・介護・行政のネットワーク構築及び認知症支援にかかる支援体制の充実を図っている。

○講演会等への参画・開催

大阪経済大学主催の市民公開講座や認知症講演会&映画上映会（地域包括・ランチ連絡会主催）、認知症サポーター養成講座等にて事例を通じた事業の啓発を実施。